

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成19年7月31日

上会社名 コタ株式会社 上場取引所 大証第二部
 コード番号 4923 URL <http://www.cota.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 直樹 TEL (0774) 46-7250

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	684	2.8	39	△17.4	46	△11.4	24	101.3
19年3月期第1四半期	666	13.0	47	548.5	52	432.6	12	25.5
19年3月期	3,664	—	749	—	761	—	425	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	3	07	—	—
19年3月期第1四半期	1	53	—	—
19年3月期	53	52	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	4,160		3,567		85.7		448	78
19年3月期第1四半期	3,901		3,235		82.9		406	99
19年3月期	4,620		3,658		79.2		460	24

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	△162		△56		△86		828	
19年3月期第1四半期	△201		△59		△76		841	
19年3月期	398		△346		△95		1,134	

2. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	1,619	10.8	156	△17.3	165	△16.3	90	△5.9	11	32
通期	4,050	10.5	763	1.9	777	2.1	426	0.2	53	60

3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔注〕 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日～平成19年6月30日）におけるわが国経済は、原油価格の高騰や円安による原材料価格の上昇、さらには最近の米国経済の減速や金利上昇など、景気へ及ぼす悪影響が懸念されておりましたが、中小企業を含めた設備投資の拡大、雇用情勢の改善及び個人消費、輸出などが堅調に増勢を維持していることもあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。

美容業界におきましては、国内人口の減少や地域格差といった情勢を背景に美容室間の顧客獲得競争（集客）は一段と激しさを増し、また、美容学校入学者数の推移でも2002年から減少傾向を辿るなど、人の問題を含め経営環境は厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、当社は「美容室経営の近代化」を営業活動のテーマとし、「将来ビジョンの明確化」・「現状分析による課題発見と解決策の追求」・「生産性及び収益性の向上」の3点を今後の重要な課題対策として掲げ、営業活動の基盤となる「旬報店システム」（当社独自に開発した美容室専用の経営分析システムであり、導入先の取引先美容室については「旬報店」という。）を軸にお取引先美容室の繁栄へ向けての支援活動に努めております。

また、当社の課題とする首都圏市場におけるシェア獲得に向けては、新たな営業拠点として平成19年6月1日付で横浜市中区に横浜営業所を開設いたしました。

これらの結果、当第1四半期の売上状況といたしましては、主幹であるトリレタリー製品「コタ アイケア」シリーズや今年2月に発売した医薬部外品登録のスキヤルケア製品である「コタ セラ」シリーズが引き続きお客様からの高い支持を得、トリレタリー及び育毛剤は堅調に推移させることができ、また整髪料・カラー剤も微増ではありますが、前年同期を上回ることができました。

一方、パーマ市場におきましてはデジタルパーマの出現により需要の回復も期待されておりますが、ヘアスタイルのトレンドから依然として減少傾向が続いており、当社もその影響から前年同期を下回る結果となりました。

費用面では、金沢支店及び岡山営業所における出荷・配送業務の本社物流への切り替え（東京支店、名古屋支店及び近畿支店においては既に実施済。）の影響による荷造運送費等の増加や営業部門の増員による人件費の増加等により販売費及び一般管理費は前年同期比7.1%の増加となり、また製造原価においては、稼働率・操業度の向上及び原材料費の増加等の影響から前年同期比17.8%の増加となりました。

これらの結果、当第1四半期の業績としては、売上高684百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益39百万円（前年同期比17.4%減）、経常利益46百万円（前年同期比11.4%減）、四半期純利益24百万円（前年同期比101.3%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は4,160百万円となり、前事業年度末に比べ460百万円の減少となりました。

主な要因としては、流動資産の売掛金278百万円及び有価証券314百万円の減少、たな卸資産94百万円の増加によるものであります。

当第1四半期末の負債合計は592百万円となり、前事業年度末に比べ369百万円の減少となりました。

主な要因としては、未払金142百万円及び未払法人税等225百万円の減少によるものであります。

当第1四半期末の純資産の部は3,567百万円となり、前事業年度末に比べ91百万円の減少となりました。

主な要因としては、利益剰余金86百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は前事業年度末より6.5ポイント改善し85.7%となりました、

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ305百万円減少し828百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、△162百万円（前年同期比38百万円増）となりました。

収入の主な要因は売掛債権の減少284百万円であり、支出では賞与引当金の減少49百万円、たな卸資産の増加94百万円及び法人税等の支払い227百万円によるものであります。

②（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、△56百万円（前年同期比2百万円増）となりました。

これは投資有価証券の売却及び償還による収入36百万円の増加に対し、投資有価証券（リスクの少ない金融商品の運用）の取得による支出50百万円及び有形固定資産の取得35百万円等によるものであります。

③（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、△86百万円（前年同期比10百万円減）となりました。

これは配当金の支払いによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、平成19年5月14日の決算発表時の見通しから新製品（8月下旬発売予定）の発売時売上を見込み、中間期の売上高予想を上方修正しております。なお、通期については変更ありません。

当業界におきましては、今後も国内人口の減少問題や地域格差の拡大等の情勢を背景にマーケティングはさらに厳しい環境へと進み、美容室のみならず各メーカーや販売代理店の業績にも大きな影響を及ぼす時代を迎えつつあります。

このような環境において、当社の営業基本スタイルである提案営業（コンサルティングセールス）は、今後においても大きな力を発揮するものと考えており、お取引先となる美容室や販売代理店からの信頼をさらに高め、当社の優位性を一層強化できるものと確信しております。

なお、通期においては下記する施策により、さらなる拡販へ向け取り組む所存であります。

- ① 業容拡大へ向けた首都圏市場でのシェア獲得。
- ② 「旬報店システム」のさらなる充実と既存旬報店へのWeb化の推進。
- ③ 1,000店を目標とした新規旬報店開拓。
- ④ トリートメント市場のシェア獲得に向けた新製品の投入。（8月発売予定）

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、税金等調整前四半期純利益を基準として算定される当四半期の負担すべき税額を計上しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より、法人税法の改正により平成19年4月1日以降取得する有形固定資産につきましては、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益及び四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	159,813	120,004	△39,808	△24.9	111,680
2. 受取手形	28,071	32,153	4,081	14.5	38,425
3. 売掛金	457,634	465,153	7,518	1.6	743,302
4. 有価証券	681,527	708,892	27,365	4.0	1,023,038
5. たな卸資産	351,462	466,424	114,962	32.7	372,020
6. その他	113,972	48,498	△65,474	△57.4	62,653
貸倒引当金	△489	△428	61	△12.5	△560
流動資産合計	1,791,992	1,840,697	48,705	2.7	2,350,561
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	381,218	399,085	17,867	4.7	360,272
(2) 土地	914,751	914,751	—	—	914,751
(3) その他	192,707	313,033	120,325	62.4	313,368
有形固定資産合計	1,488,677	1,626,869	138,192	9.3	1,588,392
2. 無形固定資産	61,908	52,122	△9,785	△15.8	55,580
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	333,462	399,677	66,215	19.9	392,635
(2) その他	225,876	240,684	14,808	6.6	233,464
投資その他の資産合計	559,338	640,361	81,023	14.5	626,100
固定資産合計	2,109,923	2,319,353	209,430	9.9	2,270,073
資産合計	3,901,916	4,160,051	258,135	6.6	4,620,634

(注) 記載金額は千円を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	65,134	75,322	10,188	15.6	98,997
2. 賞与引当金	—	—	—	—	49,648
3. 販売奨励引当金	21,779	24,279	2,500	11.5	—
4. その他	319,513	192,546	△126,966	△39.7	528,440
流動負債合計	406,426	292,148	△114,278	△28.1	677,086
II 固定負債					
1. 役員退職慰労引当金	193,400	227,380	33,980	17.6	218,580
2. 預り保証金	67,070	73,305	6,235	9.3	66,652
固定負債合計	260,470	300,685	40,215	15.4	285,232
負債合計	666,896	592,833	△74,063	△11.1	962,318
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	387,800	387,800	—	—	387,800
2. 資本剰余金	330,800	330,800	—	—	330,800
3. 利益剰余金	2,506,900	2,833,340	326,440	13.0	2,920,179
4. 自己株式	△575	△575	—	—	△575
株主資本合計	3,224,924	3,551,365	326,440	10.1	3,638,204
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	10,094	15,853	5,758	57.1	20,111
評価・換算差額等合計	10,094	15,853	5,758	57.1	20,111
純資産合計	3,235,019	3,567,218	332,199	10.3	3,658,315
負債純資産合計	3,901,916	4,160,051	258,135	6.6	4,620,634

(注) 記載金額は千円を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位: 千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	666,095	684,803	18,707	2.8	3,664,228
II 売上原価	181,377	177,470	△3,906	△2.2	970,381
売上総利益	484,718	507,333	22,614	4.7	2,693,847
III 販売費及び一般管理費	437,083	467,972	30,889	7.1	1,944,313
営業利益	47,634	39,360	△8,274	△17.4	749,534
IV 営業外収益	6,261	7,851	1,589	25.4	31,632
V 営業外費用	1,096	439	△657	△59.9	19,508
経常利益	52,799	46,771	△6,027	△11.4	761,657
VI 特別利益	—	131	131	—	—
VII 特別損失	28,000	—	△28,000	—	32,817
税引前四半期(当期) 純利益	24,799	46,903	22,103	89.1	728,840
法人税、住民税及び 事業税	778	841	63	8.2	268,099
法人税等調整額	11,881	21,619	9,737	82.0	35,322
四半期(当期)純利益	12,139	24,442	12,302	101.3	425,418

(注) 記載金額は千円を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(千円)	387,800	330,800	330,800
当四半期の変動額			
前期利益処分による剰余金の配当			
前期利益処分による役員賞与			
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の積立			
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の取崩			
前期利益処分による別途積立金の積立			
当期における固定資産圧縮積立金の取崩			
四半期純利益			
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)			
当四半期の変動額合計(千円)	—	—	—
平成18年6月30日残高(千円)	387,800	330,800	330,800

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		その他利益剰余金					利益剰余金合計
		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年3月31日残高(千円)	46,800	—	2,080,000	487,344	2,614,144	△575	3,332,169
当四半期の変動額							
前期利益処分による剰余金の配当				△95,383	△95,383		△95,383
前期利益処分による役員賞与				△24,000	△24,000		△24,000
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の積立		12,546		△12,546	—		—
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の取崩		△1,043		1,043	—		—
前期利益処分による別途積立金の積立			260,000	△260,000	—		—
当期における固定資産圧縮積立金の取崩		△227		227	—		—
四半期純利益				12,139	12,139		12,139
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)							
当四半期の変動額合計(千円)	—	11,275	260,000	△378,519	△107,244	—	△107,244
平成18年6月30日残高(千円)	46,800	11,275	2,340,000	108,825	2,506,900	△575	3,224,924

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	24,212	24,212	3,356,382
当四半期変動額			
前期利益処分による剰余金の 配当			△95,383
前期利益処分による役員賞与			△24,000
前期利益処分による固定資産 圧縮積立金の積立			—
前期利益処分による固定資産 圧縮積立金の取崩			—
前期利益処分による別途積立 金の積立			—
当期における固定資産圧縮積 立金の取崩			—
四半期純利益			12,139
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△14,118	△14,118	△14,118
当四半期の変動額合計(千円)	△14,118	△14,118	△121,362
平成18年6月30日残高(千円)	10,094	10,094	3,235,019

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高(千円)	387,800	330,800	330,800
当四半期の変動額			
剰余金の配当			
別途積立金の積立			
固定資産圧縮積立金の取崩			
四半期純利益			
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)			
当四半期の変動額合計(千円)	—	—	—
平成19年6月30日残高(千円)	387,800	330,800	330,800

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	利益剰余金					利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金						
		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
平成19年3月31日残高(千円)	46,800	10,592	2,340,000	522,787	2,920,179	△575	3,638,204	
当四半期の変動額								
剰余金の配当				△111,281	△111,281		△111,281	
別途積立金の積立			260,000	△260,000	—		—	
固定資産圧縮積立金の取崩		△199		199	—		—	
四半期純利益				24,442	24,442		24,442	
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)								
当四半期の変動額合計(千円)	—	△199	260,000	△346,640	△86,839	—	△86,839	
平成19年6月30日残高(千円)	46,800	10,393	2,600,000	176,147	2,833,340	△575	3,551,365	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高(千円)	20,111	20,111	3,658,315
当四半期変動額			
剰余金の配当			△111,281
別途積立金の積立			—
固定資産圧縮積立金の取崩			—
四半期純利益			24,442
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)	△4,258	△4,258	△4,258
当四半期の変動額合計(千円)	△4,258	△4,258	△91,097
平成19年6月30日残高(千円)	15,853	15,853	3,567,218

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(千円)	387,800	330,800	330,800
事業年度中の変動額			
前期利益処分による剰余金の配当			
前期利益処分による役員賞与			
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の積立			
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の取崩			
前期利益処分による別途積立金の積立			
当期における固定資産圧縮積立金の取崩			
当期純利益			
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)			
事業年度中の変動額合計(千円)	—	—	—
平成19年3月31日残高(千円)	387,800	330,800	330,800

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年3月31日残高(千円)	46,800	—	2,080,000	487,344	2,614,144	△575	3,332,169
事業年度中の変動額							
前期利益処分による剰余金の配当				△95,383	△95,383		△95,383
前期利益処分による役員賞与				△24,000	△24,000		△24,000
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の積立		12,546		△12,546	—		—
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の取崩		△1,043		1,043	—		—
前期利益処分による別途積立金の積立			260,000	△260,000	—		—
当期における固定資産圧縮積立金の取崩		△910		910	—		—
当期純利益				425,418	425,418		425,418
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計(千円)	—	10,592	260,000	35,442	306,035	—	306,035
平成19年3月31日残高(千円)	46,800	10,592	2,340,000	522,787	2,920,179	△575	3,638,204

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	24,212	24,212	3,356,382
事業年度中の変動額			
前期利益処分による剰余金の配当			△95,383
前期利益処分による役員賞与			△24,000
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の積立			—
前期利益処分による固定資産圧縮積立金の取崩			—
前期利益処分による別途積立金の積立			—
当期における固定資産圧縮積立金の取崩			—
当期純利益			425,418
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△4,101	△4,101	△4,101
事業年度中の変動額合計(千円)	△4,101	△4,101	301,933
平成19年3月31日残高(千円)	20,111	20,111	3,658,315

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前四半期(当期)純利益	24,799	46,903	728,840
2. 減価償却費	24,359	28,581	112,658
3. 投資有価証券売却益	—	△325	△521
4. 固定資産除却損	—	—	4,817
5. 貸倒引当金の増減額	—	△131	70
6. 賞与引当金の増減額	△47,688	△49,648	1,960
7. 役員賞与引当金の増加額	5,070	6,478	—
8. 役員退職慰労引当金の増減額	△104,590	8,800	△79,410
9. 販売奨励引当金の増加額	21,779	24,279	—
10. 受取利息及び受取配当金	△5,350	△5,517	△21,708
11. 売上債権の増減額	204,202	284,417	△91,814
12. たな卸資産の増加額	△55,020	△94,404	△75,578
13. 仕入債務の増減額	△5,935	△23,675	27,927
14. 役員賞与の支払額	—	—	△24,000
15. その他	△78,450	△165,703	26,913
小計	△16,824	60,054	610,155
16. 利息及び配当金の受取額	5,350	5,089	21,708
17. 法人税等の支払額	△189,580	△227,538	△233,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,054	△162,394	398,564
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資有価証券の取得による支出	△86,883	△50,811	△387,034
2. 投資有価証券の売却による収入	—	4,839	11,213
3. 投資有価証券の償還による収入	61,964	32,115	245,354
4. 有形固定資産の取得による支出	△18,721	△35,854	△200,115
5. その他	△15,500	△7,195	△16,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,140	△56,905	△346,644
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 配当金の支払額	△76,342	△86,521	△95,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,342	△86,521	△95,079
IV 現金及び現金同等物の増加額	△336,537	△305,821	△43,159
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,177,878	1,134,718	1,177,878
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	841,340	828,897	1,134,718

(注) 記載金額は千円を切り捨てて表示しております。

(5) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

(単位：千円、%)

製品区分	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成20年3月期 第1四半期累計期間		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
トイレットリー	382,294	54.2	482,749	58.7	1,817,019	52.9
整髪料	186,652	26.5	194,442	23.7	803,629	23.4
カラー剤	77,605	11.0	44,633	5.4	372,226	10.9
育毛剤	13,042	1.8	46,642	5.7	221,250	6.4
パーマ剤	46,086	6.5	53,792	6.5	219,964	6.4
合計	705,681	100.0	822,260	100.0	3,434,089	100.0

(注) 上記金額は「生産本数×代理店納入価」により算出しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

(単位：千円、%)

区 分	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成20年3月期 第1四半期累計期間		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
商 品	35,666	100.0	23,670	100.0	133,478	100.0
合計	35,666	100.0	23,670	100.0	133,478	100.0

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

③ 外注実績

(単位：千円、%)

製品区分	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成20年3月期 第1四半期累計期間		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
トイレットリー	—	—	40	0.2	—	—
整髪料	5,684	21.8	3,086	12.7	28,331	17.9
カラー剤	14,193	54.3	7,513	30.8	70,645	50.7
育毛剤	1,369	5.2	8,873	36.4	15,398	20.3
パーマ剤	4,891	18.7	4,865	19.9	24,909	11.1
合計	26,138	100.0	24,379	100.0	139,285	100.0

(注) 上記金額は外注加工費であり、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

(単位：千円、%)

区 分	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期累計期間		当四半期 平成20年3月期 第1四半期累計期間		(参考)前期 (平成19年3月期)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
製 品	トイレットリー	325,514	48.9	348,223	50.9	1,878,784	51.3
	整髪料	170,916	25.6	171,910	25.1	884,043	24.1
	カラー剤	60,499	9.1	63,857	9.3	352,554	9.6
	育毛剤	14,207	2.1	23,981	3.5	142,226	3.9
	パーマ剤	52,353	7.9	46,866	6.8	239,561	6.5
	小 計	623,490	93.6	654,838	95.6	3,497,169	95.4
商品		40,497	6.1	29,747	4.4	160,953	4.4
受取販売手数料		2,107	0.3	216	0.0	6,104	0.2
合計		666,095	100.0	684,803	100.0	3,664,228	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。